

II

I

## スタート

1980年代：

- ① 高額所得者層の所得税の最高税率は70~80%と高率だったため、政府の税金収入は多く、このため社会保障などは充実していた。
- ② 世界各国は、自国の成長・発展に専念していた。

富の再配分度（所得税の最高税率）  
大 【国民生活：楽】

このエリアは、一般国民にとっては理想的なエリアで、貧民国民が移住したがる場所である。

交通手段の発達した現代社会においてはこのエリアへの移住希望を封じ込めることはできないだろう。

むしろ移民も含めてこのエリアに住む国民の90%以上は貧富の差においてはほぼ同じなので、**富裕層からの富の再配分を保障する適正な累進課税制の維持**に移民ともども連帯して努めていく必要がある。

小

グローバリズム度  
大

【資本・人の移動：小】

【資本・人の移動：大】

覇権主義 ←→ 保護主義

- ① 英サッチャー政権による最高税率の引き下げを契機とした世界的な最高税率の引き下げと間接税への肩代わりにより、富の一極集中と国民の貧困化が始まる。
- ② 資本・人の移動自由化によるグローバリズムの台頭

米  
中  
ロ

反移民

- ① 日本
- ② 独仏伊など  
EU・ユーロ圏
- ③ 中近東・アフリカ

英  
Brexit

反移民

小 【国民生活：苦】

III

IV